

## 2月11日～13日 ウィンターフェスティバル2022 3夜連続で雪原に希望の花火

ウィンターフェスティバル2022が開催され、3夜連続で村内の夜空に花火が上がりました。

昭和村に花火を上げる会(藤井朋和会長)による恒例のイベントは、今年もコロナ禍の影響により集客での昼間のイベントが行えないため、夜7時から約10分間の花火を3日間に分け、各日とも村内3カ所で打ち上げられました。花火を見た金子幸雄さん(常木)は「母校の東小学校で迫力の花火が上がったのは感慨深く、息子とともに楽しみました」と話していました。



南小(右)と昭和中、東小(左奥)で上がった12日の花火

## JFAトレセン群馬U-12メンバー決定 加藤敬二君がサッカー県選抜選手に

村を拠点に活動するサッカークラブ「FC昭和」(和南城寿監督)所属の加藤敬二君(東小学校6年)が、サッカー12歳以下の群馬県選抜選手に相当するJFAトレセン群馬U-12メンバーに選出されました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、予定されていた関東大会の試合は中止となりましたが、加藤君は「選ばれたことはうれしい。次のチャンスに向けて、さらに頑張っていきたい」と気を引き締めていました。



県選抜選手の加藤敬二君

## 2月16日 群馬県優良交通指導員表彰 治田さん・綿貫さんに感謝状

村交通指導員・隊長の治田貴典さん(大河原)と隊員の綿貫里織さん(鎌沢)に、群馬県優良交通指導員表彰の部の感謝状が贈られました。治田さんと綿貫さんは、交通指導員として6年間にわたり活動され、地域の交通安全活動や、各学校・保育園の交通安全教室などを通じ村の交通安全に尽力されました。治田さんは「多くの方々と知り合うことができ、あっという間の6年間でした」、綿貫さんは「子どもたちに係わることもでき、充実した時間でした」と話していました。



感謝状を贈られた治田さん(左)と綿貫さん

## 2月15日 吹張区民館が完成 吹張区民の新たなコミュニティ拠点に

吹張区(和南城順一区長)の新たな地域コミュニティ活動の拠点となる、吹張区民館が完成しました。この建物は、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金で整備したものです。区民館はバリアフリーに配慮し、子どもから高齢者まで幅広く利用できる施設となりました。

和南城区長は「長年の懸案だった区民館が完成し、大変うれしい。安全・安心な地域コミュニティの拠点として、より活発に活用したい」と話していました。

◆コミュニティ助成事業とは…(一財)自治総合センターが、全国自治宝くじの受託収入を財源に行っている助成事業。地域コミュニティ活動の充実と住民福祉の向上に寄与しています。



完成した吹張区民館と建設委員の皆さん

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

### ■ 1月20日 ひまわり大学 素敵なタイルクラフトを制作

タイルクラフト作家の小倉香さんを講師に招いた、ひまわり大学「簡単に楽しいタイルクラフト教室」が開かれました。参加者は、自分の好きなタイルを組み合わせ、かわいい鍋敷きを作り上げていました。



小倉さん(左)がていねいに手ほどき

### ■ 2月10日 第二保育園 ぐんまちゃんが来園

第二保育園に群馬県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」が来園し、園児と交流しました。

園児たちは、ぐんまちゃんと楽しく歌ったり踊ったりしたほか、クイズなどをして楽しみました。



ぐんまちゃんと交流する園児たち

### ■ 3月3日第一保育園 ひなまつりをお祝い

第一保育園で園児たちがひなまつりを祝いました。

園のホールに飾られた大きなひな飾りの前では、クラスごとに分かれて園児たちが集まり、記念写真を撮りながら、桃の節句を楽しみました。



大きなひな飾りを楽しむ園児たち

### ■ 1月16日 道の駅「あぐりーむ昭和」 願い込め「どんどん焼き」

道の駅「あぐりーむ昭和」で恒例の「どんどん焼き」が行われました。

訪れた人たちは、古いだるまやお札などで組まれた大きなやぐらの火柱に向かって、家内安全や新型コロナウイルスの終息を願っていました。



コロナ禍の終息を願った「どんどん焼き」

### ■ 2月3日 子育て保育園 元気いっぱい「鬼は外！」

村内各保育園で、節分の豆まきが行われました。

子育て保育園では、園児たちの前に迫力のある赤鬼が登場。園児たちは元気に豆を投げ、鬼を退散させていました。



鬼に豆をまく園児たち

### ■ 2月24日 昭和中学校3年 「風水害24」で自主避難学ぶ

大規模風水害からの避難をゲームで学ぶ「風水害24」が昭和中学校で行われ、3年生が体験しました。

生徒たちは、日頃からの防災マップの確認と、災害時に自分の命を最優先で守る大切さを学んでいました。



刻々と変化する状況に対応する生徒たち

### ■ 1月12日沼田警察署長から感謝状 道の駅が警察活動に貢献

道の駅「あぐりーむ昭和」(倉澤新平駅長)に沼田警察署長から感謝状が贈られました。同道の駅では、沼田警察署が開催する行事に積極的に協力するなど、地域の交通安全活動への貢献から贈られたものです。



感謝状を手にする倉澤駅長

### ■ 2月3日 遍照寺で節分会 鬼踊りで悪疫退散を願う

遍照寺(榎本最紳住職)で昭和元三大師節分会が開かれました。今年で11回目となる節分会では、関東唯一の鬼法楽(鬼踊り)が行われ、人間の3つの煩惱を表した赤、青、白の鬼がゆっくりと境内を練り歩きました。



境内を練り歩く鬼たち

### ■ 2月24日 南小学校6年 横浜・勝田小と再び交流

南小学校と横浜市・勝田小学校の6年生がリモート接続し交流する授業が行われました。今回は、勝田小学校の子どもたちが市内のお店や施設などを紹介。子どもたちは丁寧な説明を熱心に聞き入っていました。



発表に対し拍手で答える子どもたち